

死生学 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目： 専 門 試験時間：（ 90 ）分

第1問

採点基準

- ・利他の思想をめぐる宗教学的・日本思想的な知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識に基づき、日本の宗教における利他の思想や実践を具体的に説明できているかどうか
- ・その知識と説明に基づき、日本宗教の利他性に関する課題や特徴について、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

「利他」に関する宗教学的な専門知識を問うとともに、それに基づいて、日本の宗教における利他の発想や実例およびその宗教的・宗教学的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第2問

採点基準

- ・宗教の主観性と客観性に関わる宗教学的な専門知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識と問題文の読解に基づき、宗教の把握方法の課題について、日本の事例を挙げつつ説明できているかどうか
- ・その知識と事例に基づき、宗教の把握方法について、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

宗教の客観性と主観性に関する専門知識を問うとともに、それに基づいて、宗教の学問的考察に関わる宗教学的・方法論的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第3問

採点基準

- ・ ビーチャム&チルドレスの医療倫理の4原則に関する専門知識を正しく有しているかどうか
- ・ その知識に基づき、4原則同士の衝突ケースを具体的に推測できているかどうか
- ・ その知識と推測に基づき、医療倫理の実践的判断の原則について、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

医療倫理の原則に関する倫理的な専門知識を問うとともに、それに基づいて、倫理原則の衝突ケースにおける倫理的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第4問

採点基準

- ・ デスカフェなどの「死について話す」運動に関する死生学的な専門知識を正しく有しているかどうか
- ・ その知識と問題文の読解に基づき、「死について話す」実践や制度の実例を適切に説明できているかどうか。
- ・ その知識と説明に基づき、「死について語る」ことの展開や留意点について、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

「死について話す」運動に関する死生学的な専門知識を問うとともに、それに基づいて、その社会的課題ならびに死生学的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第5問

採点基準

- ・スピリチュアリティ概念をめぐる心理学的・死生学的・宗教学的な専門知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識に基づき、適切な文化や文脈のなかでスピリチュアリティ概念を考え、スピリチュアリティ概念の適切な訳語を考察できているかどうか。
- ・その知識と考察に基づき、スピリチュアリティ概念の翻訳という営みについて、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

スピリチュアリティ概念に関する心理学的・死生学的・宗教学的な専門知識を問うとともに、それに基づいて、この語を翻訳するという課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第6問

採点基準

- ・現代社会における貧困に関する社会福祉的・社会学的な専門知識を正しく有しているかどうか
- ・その知識と問題文の読解に基づき、現代における「実存的貧困」というありようを正しく理解できているかどうか。
- ・その知識と理解に基づき、貧困に対する適切なケアのあり方を客観的かつ論理的に考察できているかどうか。

出題意図

「実存的貧困」に関する社会福祉的・社会学的な専門知識ならびに社会状況に関する知識を問うとともに、それに基づいて、そのケア的な課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力と、それらを論理的に記述する表現力を問う。

死生学 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目： 英語 試験時間：（ 90 ）分

第1問

模範解答

出題意図

グローバル化とカトリック教会に関する上記の内容を理解しつつ、アカデミックな水準の英語を厳密に読み解き、理解する力を問う。

第2問

模範解答

出題意図

宗教研究の方法論に関する上記の内容を理解しつつ、アカデミックな水準の英語を厳密に読み解き、理解する力を問う。